



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2019年 4月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6205-4377 Fax.03-6205-4378

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

「和太鼓たぎり」が518団体の頂点に立ち2度目の栄冠に輝く!! 第21回日本太鼓ジュニアコンクール



(選手宣誓:「野州轟一番太鼓ジュニア」猪瀬七頌さん)

3月24日(日)福島県郡山市「けんしん郡山文化センター」にて日本太鼓財団主催、東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部主管により、第21回日本太鼓ジュニアコンクールを満員となる2,000名のお客様の前に盛大に開催いたしました。

優勝を目指して全国40都道府県及び地区大会から選抜された3団体を加えた59団体629名(予選実施35支部473団体4,800名参加、支部推薦8団体、支部未開設1団体)に加え、ブラジルチーム13名(予選13団体136名参加)、台湾チーム10名(予選23団体260名参加)の総勢652名が出場しました(最年少6歳)。さらに前年度優勝団体「三代目源流少年隊」(大分)が特別出演として参加いたしました。

開会式は、優勝旗を手にした「三代目源流少年隊」、ブラジルの優勝団体「ドラセーナ清心太鼓」、台湾の優勝団体「柏齡太鼓團」(ぼうりんたいこだん)が中央に並び、全団体が整列して行われました。

国歌斉唱に続き、日本太鼓財団塩見和子理事長、品川万里郡山市長、日本太鼓財団福島県支部高橋雅行支部長が挨拶。そして、「三代目源流少年隊」より優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと長胴太鼓が贈呈されました。

続いて抽選で出場順1番となった栃木県代表「野州轟一番太鼓ジュニア」の猪瀬七頌(なおと)さんが選手宣誓を行いました。そして、この度新たに作成したバチを塩見和子理事長が長谷川義副会長に手渡し、初切り太鼓が行われ、コンクールが幕を開けました。

出場61団体は、大会要領に基づき長谷川副会長作曲による課題曲「凜」と自由曲を5分以内に演奏しました。各団体の演奏が終わる度に、満員のお客様より心からの拍手が送られました。

61団体の演奏の後、前回優勝した「三代目源流少年隊」が特別演奏を披露しました。次いで、今回審査をしていただいた石井秀弦審査委員(津軽三味線石井流家元)による津軽三味線の演奏を披露いただきました。

閉会式では、喜多郎審査委員からの講評と塩見審査委員長より総評があった後、結果が発表されました。優勝し、栄えある内閣総理大臣賞に輝いたのは「和太鼓たぎり」(福岡)でした。優勝団体が発表された瞬間、会場の張り詰めた空気が一転し、割れんばかりの拍手が沸き起こりました。

「和太鼓たぎり」は、10歳から18歳までの15名で構成された団体で、植田代表の下、練習を積み重ね、2017年の初優勝に続き、2度目の優勝に輝きました。また、「手取亢龍若鮎組」(石川)が準優勝となり、総務大臣賞を受賞。芸術性が高く将来有望な団体に贈られる文部科学大臣賞は第3位に選ばれた「神洲八幡巫太鼓」(福岡)が受賞されました。「ドラセーナ清心太鼓」(ブラジル)、「柏齡太鼓團」(台湾)は、それぞれ特別賞を受賞されました。

出場全団体がこれまでの練習の成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを期待しております。

また今回もインターネットによる全世界生中継を行い、開始直後よりブラジルをはじめ海外からも感想などの書き込みが寄せられました。

最後に、審査委員、技術委員の先生方、ご父兄並びにご来場の皆様、そして参加者のために行き届いた心配りをして下さった福島県支部、福島県太鼓連盟、東北太鼓連合及び、北は北海道から南は九州まで全国から駆けつけて下さった延べ270名ものボランティアスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。



(優勝した和太鼓たぎり)

受賞一覧

優勝・内閣総理大臣賞
準優勝・総務大臣賞
文部科学大臣賞
第3位・福島県知事賞
第4位・郡山市長賞
第5位 福島県教育委員会賞
特別賞 郡山市教育委員会賞
郡山商工会議所賞
(公財)郡山コンベンションビルロー賞
福島民報社賞
福島民友新聞社賞
東北太鼓連合賞
日本太鼓財団福島県支部・
福島県太鼓連盟賞
株式会社浅野太鼓楽器店賞
株式会社宮本卯之介商店賞
諏訪響太鼓店賞
ブラジル太鼓協会賞
台湾太鼓協会賞
国際友好賞(太鼓贈呈)
国際友好賞(太鼓贈呈)

和太鼓たぎり(福岡)
手取亢龍若鮎組(石川)
神洲八幡巫太鼓(福岡)
神洲八幡巫太鼓(福岡)
やまばと太鼓(秋田)
橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)
柏齡太鼓團(台湾)
沼垂小学校 万代太鼓 鼓助(新潟)
天城連峰太鼓(静岡)
輪島・和太鼓 虎之介(石川)
太鼓研修センター「響」(宮崎)
おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)
熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本)
ドラセーナ清心太鼓(ブラジル)
院内童龍太鼓(大分)
東京都立美原高等学校和太鼓部「和心響華」(東京)
院内童龍太鼓(大分)
不知火太鼓(佐賀)
ドラセーナ清心太鼓(ブラジル)
柏齡太鼓團(台湾)

*優勝した「和太鼓たぎり」(福岡)から感想文をいただきましたので掲載いたします。

「たぎりらしく」

代表 植田 美紀

「福岡県代表 和太鼓たぎり」は、今回の大会で2度目の優勝をさせていただきました。

前回のメンバーの約半数が、卒業や進学等で交代し不安な気持ちがあったと思います。

ですが毎日の練習を共にすごし、次第に絆が強くなりチームが一つになって全国大会の舞台へ挑みました。1年を通し辛い事や苦しい事が多かったと思います。でもそれを乗り越えて来たからこそその喜びがこの皆で掴んだ優勝なんだと思います。

「我武者羅に、泥臭く、たぎりらしく」

おたがいを信じ、自分を信じ、全てを出しきり演奏できたと思います。



(優勝時の演奏)

これも常日頃から沢山の協力をしてサポートしてくれている保護者の方々、応援して下さいながら地元地域の皆さんの支えがあっての事だと心より感謝しています。

今後も驕る事なく襟を正し大好きな太鼓に向き合い、それを通して人として沢山の事を学んで成長して欲しいと思います。

私自身、代表として子供達に成長させてもらったと思っています。

日本太鼓ジュニアコンクールで他団体の皆さんと出会い、そして同じ目標に向う姿はとても羨ましくもあります。これからも、子供達の夢について行きたいと思います。

最後に大会においてお世話して下さいました財団関係者の皆様、スタッフの皆様、応援して下さいました皆様、共に大会に挑んだ出場団体の皆様、そして根気よく指導して下さいました川原先生に心より感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

審査委員

塩見 和子(財団理事長)*審査委員長
石井 秀弦(津軽三味線石井流家元)
岡田 知之((公社)日本吹奏楽指導者協会会長)
喜多 郎(演奏家)
河野 成久((一社)日本マージングバンド協会公認指導員)
長谷川 義(財団副会長)
古屋 邦夫(財団技術委員会委員長) (敬称略)

リーダー 松田 伊織(18歳)

高校3年生の私は、今回の大会で出場するのは最後でした。また、今年は受験生が多く、練習を皆で揃って行うことが少なく不安でした。私も大学受験で忙しく練習に参加できない日が多くありました。そんな私を練習に来ると温かく迎えてくれたメンバー、保護者に支えられて私は最後の大会を迎えました。

私は太鼓を始めて10年目になります。最初は大会に出場するなんて思ってもいませんでした。県大会に出場したとき私たちは初めてながらに優勝することを目標にしていました。結果は優勝とはほど遠い順位でした。悔しくて皆で涙を流しました。この時の経験が無ければ今の私たち、和太鼓たぎりはいなかったと思います。その日から私たちは悔しさを胸に全国大会優勝を目標に練習に励みました。その甲斐あって第19回日本太鼓ジュニアコンクールで和太鼓たぎりは優勝しました。

そして、今回、2度目の優勝をすることができました。一昨年の優勝からメンバーの半数が変わった新たな和太鼓たぎりで優勝が今までよりも特別で嬉しかった優勝でした。また、優勝できたのはメンバーや川原先生、植田会長や保護者の方々の指導、応援のお陰だと思っています。私はもうジュニアコンクールに選手として出場することができませんが、和太鼓で得た貴重な体験を自分の将来に活かしていきたいです。ありがとうございました。

<審査講評>

各出場団体に送付いたしました審査講評の要点を以下に抜粋します。

<全体>

技術の向上が感じられた一方、スムーズな入退場ができない団体が見受けられたのは残念でした。団体名紹介後から演奏前までに無駄と思える動作も見受けられました。過度の動作は、減点の対象となりますので留意して下さい。

<課題曲>

一定のテンポで打つように指示されていましたが、速くなったり、遅くなったりテンポが不安定な団体が多かったのは残念でした。

<自由曲>

4分の時間の中で色々な表現をしようとする団体が多く見られましたが、何を表現したいのか理解に苦しむような構成は逆効果になりますので、気をつけて下さい。

「優勝・感謝」

岩崎 愛也(17歳)

僕は、特別支援学校高等部2年生です。

てんかんやその他の病気もあり今まであまり登校もできず、家で過ごす事がとても多かったです。中学3年生の時に「和太鼓たぎり」の演奏を初めて見た時「このチームであの打ち方で太鼓が打ちたい」とお母さんに伝えました。その10月から、練習に入りその打ち方の名前は「ハス」でその打ち方を教えてもらいました。足が痛くて、とてもきつい打ち方だったけど上手になってみんなと一緒に曲が打ちたかったから練習を頑張りました。たぎりでは、太鼓だけではなく、たくさんの事も指導してくれました。僕は少しずつ学校へ行ける日も増えて、今年は病院へ行く日以外登校もできるようになりました。

初めてコンクールに出たのは、一昨年、県大会・九州大会。肉離れになったりして、ハスで出られなかったのがとても悔しくて、リハビリをしながら練習を続けました。練習中に発作がでたり、部分発作でバチが飛んだり。でも、いつもみんなが見守ってくれて、僕の安心できる場所になって発作の出る回数も減っていきました。今年も、県大会からコンクールに出る事になってうれしかったし、もっと頑張りたいと思いました。曲は新曲で、一から作り僕は覚えるのが苦手で、みんなに迷惑をかけたけどみんながずっと覚えられるまで、ていねいに教えてくれたので、わかりやすく覚えられました。県大会・九州大会優勝できました。全国大会に向けて、また曲が変わり、難しいリズムと打ち方が入って、みんなで合うまで何度も練習をしました。受験生がいたので僕のパートは一人で、なかなか合わせられる日がなく、反対側の人と合わせての練習が続きました。全員がそろって練習が始まった時は、毎日練習に来ているから、間違わないようにと、自分で思っていました。

全国大会の結果発表は、とてもドキドキしていたけど、名前を呼ばれた時は実感がありませんでした。でも、優勝できました。僕は、この2年間でたくさんのことが変わり、家族以外の人達に助けられていることを知ることができました。「できない事を、障害や病気に頼らない、頑張ればできる」と、たぎりで学べました。川原先生と会長は、「愛也のペースで焦らず付いておいで」と声を掛けてくれていました。チームの仲間も優しく見守ってくれていました。最初で最後の全国大会でたくさんの事を勉強し、たくさんの人に支えられて「たぎり」の一人として優勝をすることができたと思っています。僕を変えてくれた川原先生・植田会長・仲間の人達・保護者の方々、ありがとうございました。「優勝」は僕にとって自信にもつながりました。学校と太鼓をこれからも頑張ります。

第22回日本太鼓ジュニアコンクールは
2020年3月22日(日) 愛知県名古屋市
「名古屋国際会議場センチュリーホール」で開催!

海外太鼓交流～ブラジル・台湾招請～

ブラジルからは昨年9月に行われた「第15回ブラジル太鼓選手権大会」のジュニア部門(13団体136名参加)で初優勝を果たした「ドラセーナ清心太鼓」が来日(男女13名、引率7名の総勢20名)。台湾からは昨年12月に行われた「第9回台湾太鼓ジュニアコンクール」(23団体260名参加)で初優勝を果たした「柏齡太鼓團」(ぼうりんたいこだん)が来日しました(男女10名、引率7名の総勢17名)。

コンクールに先立ち3月22日(金)、ブラジル・台湾チームは雪を見るために裏磐梯スキー場まで向かい、雪合戦を楽しみました。ブラジルチームの多くは雪を見るのが初めてで、とても喜んでいました。その後、ジュニアコンクールの会場で成功祈願祭に参加し、神聖な雰囲気緊張した面持ちで所作を真似ていました。23日(土)にはリハーサルの後、前回優勝団体である「三代目源流少年隊」も加わった交流会を行いました。子供達は英語や日本語を一生懸命話しながら交流を深め、またお互いの出し物に大きな拍手を送り、終始笑いの絶えない楽しい会となりました。

大会では、ブラジルチームは「祖先の苦勞」という曲を演奏し、自分たちの祖先である移民の苦勞や先人への感謝の気持ちを表現しました。台湾チームは「挑戦」を披露し、日頃の練習の成果を見事に発揮した演奏で、観客から大きな拍手を受けていました。

緊張で張り詰めた結果発表では、台湾チームが郡山市教育委員会賞を、ブラジルチームが株式会社浅野太鼓楽器店賞を受賞し、海外における太鼓演奏の技術向上が感じられました。

メンバーたちは「日本のジュニアチームのレベルの高い演奏や礼儀正しさ、またスムーズな舞台進行を実際に見て驚き、感動した」、「自分達も益々がんばっていききたい」と話していました。

台湾チームは25日(月)東京都内を観光。翌26日(火)には浅草の宮本卯之助商店を訪れ、世界の太鼓が展示されている「太鼓館」を見学しました。普段見ることができない世界各国の様々な太鼓を実際に演奏することができ、満足そうに帰国の途に着きました。



(ブラジル・台湾チームと三代目源流少年隊の交流会での記念写真)



(ブラジル人学校での公演風景)

ブラジルチームは25日(月)片平公民館にて長谷川副会長による特別講習会を受講。翌26日(火)午前中、群馬県大泉町にある「大泉町中央公民館」にてブラジル人学校の生徒を前に演奏を披露しました。午後、太田市にあるブラジル人学校に移動し演奏を披露。小さなお子さんが多く、大きな太鼓の音に最初はビックリしながらも楽しそうに太鼓を聞いていました。2回の演奏で生徒や学校関係者200人は大変盛り上がりました。27日(水)埼玉県上里町にある「上里町総合文化センター」を訪れ、100人のブラジル人学校関係者を前に演奏とワークショップを行いました。その後、静岡県御殿場市に移動し、(福)富岳会を見学しました。富岳会では、六尺の大太鼓「富士山」を打たせていただき、音の迫力にみんな大喜びでした。

28日(木)午前中、JICA横浜へ向かい、海外移住資料館を見学し、午後からは日本財団を表敬訪問しました。表敬訪問では、日本財団笹川陽平会長から歓迎と励ましをいただきました。最後には一人一人と記念写真に応じて下さいました。

「太鼓演奏はもちろんのこと、あこがれの日本で素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆様に感謝したい。学んだことを次につなげて、これからもがんばって太鼓を続けていききたい」と元気に日本を後にしました。



(日本財団笹川会長と記念写真:日本財団撮影)

<第64回日本太鼓全国講習会(熊本)>

2月16・17日(土日)、全九州太鼓連合、熊本県支部主管の全国講習会を熊本県宇城市「宇城市中央公民館」にて実施いたしました。地元熊本県をはじめ、18都道府県、台湾及びブラジルから来日したJICA研修生を含む288名が参加しました。開会式では、当財団塩見和子理事長、全九州太鼓連合長谷川義名誉会長、熊本県支部渡辺孝昭支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間の講習会では、冬の厳しい寒さの中、受講生たちは皆熱心に講習を受けていました。

総合指導 古屋 邦夫
○基本講座
3級基本講座 安江 信寿
4級基本講座 若山 雷門
5級基本講座 田中 俊己

○専門講座
源流太鼓講座 長谷川 義
八丈太鼓講座 菊池 修
三ツ打太鼓講座 河合 睦夫
専門講座講話 長谷川 義

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 19名受験 19名合格(5名認定)
2級検定 18名受験 18名合格(7名認定)
3級検定 23名受験 23名合格・認定
4級検定 53名受験 53名合格・認定
5級検定 62名受験 62名合格・認定

◇第7期公認指導員更新研修会

講師 浅野昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)、
長谷川義(財団副会長)、古屋邦夫(技術委員長)
45名が公認指導員更新手続きを完了しました。



(3級基本講座)

<第83回日本太鼓支部講習会(福岡)>

1月26・27日(土日)、福岡県久山町「レスポアール久山」にて福岡県支部主催による支部講習会が行われ、地元福岡県を中心にブラジルから来日したJICA研修生を含む60名が参加しました。開会式では全九州太鼓連合長谷川義名誉会長、福岡県支部川原邦裕支部長、当財団大澤和彦常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。雪が降る中、2日間受講生たちは寒さに負けず一生懸命受講していました。

○5級基本講座・総合指導 古屋 邦夫

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 39名受験 39名合格・認定



(5級基本講座)

<第84回日本太鼓支部講習会(東京)>

2月2・3日(土日)、東京都港区「日本財団ビル」にて東京都支部主催による支部講習会が行われ、東京都を中心にブラジルから来日したJICA研修生を含む91名が参加しました。開会式では渡辺洋一支部長、古屋邦夫技術委員長、当財団大澤和彦常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは、2日間真剣に受講していました。

総合指導 古屋 邦夫

○基本講座

3級基本講座 安江 信寿
4級基本講座 安藤 王子
5級基本講座 渡辺 洋一、川口 亜香

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 6名受験 6名合格・認定
4級検定 14名受験 14名合格・認定
5級検定 46名受験 46名合格・認定



(5級基本講座)

「パラ駅伝 in TOKYO 2019」に富岳太鼓竜神組が出演

3月24日(日)駒沢オリンピック公園陸上競技場において「パラ駅伝 in TOKYO 2019」が開催されました。この駅伝は障害者と健常者がチームになってタスキをつなぐ駅伝です。16都道府県と海外からカンボジアチームの計18団体162名が参加しました。主催の日本財団パラリンピックサポートセンターから応援演奏の要請を受け、知的障害者団体「富岳太鼓竜神組」(静岡)を派遣いたしました。当日の入場者は過去最高の17,100人にのぼり、太鼓の勇壮な演奏に、観客と出場者は大きな拍手を送っていました。



成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月13・14日(土日)千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催され両日合わせて24万人もの人で賑わいました。千葉県支部、千葉県太鼓連盟、当財団の協力で設置した「全国太鼓情報発信基地」には2日間でおよそ3,000人のお客様が訪れ、展示した事業紹介のパネルをご覧いただきました。浅野太鼓のご協力を得て設置した大太鼓の試し打ちコーナーでは、法被の貸出も行い、お子様や外国人等多くの方々に楽しんでいただきました。



公認指導員誕生

日本太鼓財団創立20周年を記念して実施された公認指導員の特別推薦について、講習内検定を経て技術委員会で検討した結果、新たに以下15名が3級公認指導員に認定されました。

後藤政樹氏(群馬・上州高山いぶき太鼓)、井崎邦江氏(佐賀・葉隠太鼓保存会)、
諸石一三氏(佐賀・聖太鼓の会)、香田将宏氏(佐賀・小城太鼓)、鬼塚栄男氏(熊本・城南火の君太鼓)、
川尻和則氏(長崎・鹿山雷神太鼓)、石田卓也氏(宮崎・舞鶴一座秋月鼓童)、
吉成誠一氏(東京・太鼓集団天邪鬼)、江口信一郎氏(山形・太鼓道場風の会)、
上光氏(栃木・岩舟武蔵太鼓)、福崎美由紀氏(茨城・本陣太鼓)、
仲川達也氏(長野・信濃国松川響岳太鼓)、山部泰嗣氏(岡山・倉敷天領太鼓)

山内勇人氏(静岡・富岳太鼓)、岩切響一氏(宮崎・橘太鼓響座)

また、公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て技術委員会で検討した結果、1級公認指導員2名、2級公認指導員4名、3級公認指導員6名が認定、昇級されました。

1級公認指導員:高戸風香氏(東京・(公財)日本太鼓財団)、太田義高氏(北海道・Jx和太鼓班)

2級公認指導員:上杉春明氏(宮崎・龍潮太鼓 鼓衆)、荻原大輔氏(長野・みのわ太鼓保存会)

坂下晃氏(東京・邦楽アカデミー)、山本雄二ブルーノ氏(ブラジル・ブラジル太鼓協会)

3級公認指導員:高木智之氏(富山・越中いさみ太鼓)

山田享エリキ氏(ブラジル・コロニア・ピニャール飛翔太鼓)

藤本フェリペ氏(ブラジル・一魂和太鼓)、中村タチアナ茉莉氏(ブラジル・天龍和太鼓)、

村上ジュリアナ氏(ブラジル・カチガ 若葉太鼓)、光岡マリア氏(ブラジル・空鯉和太鼓)

2019年4月現在、1級公認指導員43名、2級37名、3級160名、合計240名となりました。認定、昇級された皆様おめでとうございます。今後の益々のご活躍を期待しております。

訃報

○日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました「常願太鼓保存会」(富山)高橋正明氏が1月1日にご逝去されました(享年70歳)。高橋氏は富山県副支部長として財団の活動にご協力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

○日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました秋田県支部鈴木俊秋支部長が3月14日にご逝去されました(享年96歳)。鈴木氏は1998年から2010年まで財団の理事としても活動にご協力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

各種会議

第63回運営委員会・第64回技術委員会を1月11日(金)東京にて開催し、次の事項を審議、承認されました。

<運営委員会・技術委員会>

1. 「2018年度事業の実施状況について」
 - ①第21回日本太鼓ジュニアコンクールについて
課題曲、出場団体に関して審議し、決定すると共に、抽選により出場順番を決定した。
 - ②第3回大学太鼓フェスティバル実施報告について
 - ③第20回日本太鼓全国障害者大会の実施報告について
 - ④第33回国民文化祭・おおいた2018太鼓の祭典の実施報告について
 - ⑤第2回浅草太鼓祭実施報告について
 - ⑥第15回日本太鼓ジュニアコンクールの実施報告について
 - ⑦日本太鼓技術普及事業について
 - ⑧日本太鼓助成金交付事業の実施状況について
 - ⑨国際交流事業の実施について
 - ⑩日系研修員受入事業の実施について
2. 「2019年度事業計画(案)について」
 - ①2019年度事業計画(案)について
 - ②日本太鼓助成金交付事業について
2019年度助成金交付事業は計38事業申請があり、運営委員による審査が行われた。審議の結果、3事業が不採択となり、35事業が採択された。
3. 日本太鼓資格認定事業について
 - ①公認指導員の認定について
 - ②第7期公認指導員更新研修会の実施状況について
4. 日本太鼓シニアコンクール開催要領について

5. 「中日本太鼓連合」の設立について

中日本太鼓連合会長である古屋技術委員長より、説明があり、運営委員全員異議無く了承された。現在未加盟の新潟県支部、山梨県支部については、加盟に向けて引き続き協議を進めていく旨の報告がなされた。

6. 運営委員の選任について

大澤委員より、浅野昭利氏(浅野太鼓文化研究所理事長)、宮本芳彦氏(宮本卯之助商店代表取締役社長)2名の新任候補者の提案、並びに任期に関する説明がなされ、異議無く了承された。

理事会・評議員会を3月7日(木)東京にて開催し、次の事項を審議、承認されました。

<理事会>

1. 2019年度事業計画及び収支予算について
2. 「中日本太鼓連合」の設立について
3. 評議員会の開催について

報告事項 職務執行状況について

<評議員会>

1. 2019年度事業計画及び収支予算について

報告事項 職務執行状況について

第65回技術委員会を3月24日(日)福島にて開催し、次の事項を審議、承認されました。

<技術委員会>

1. 日本太鼓ジュニアコンクールの審査講評について
2. 公認指導員の認定について

2019年度日本太鼓助成金交付事業決定

運営委員会において、次の35事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

支部講習会9事業(海外含む)

- 6月8・9日(土日)第85回日本太鼓支部講習会(宮崎県宮崎市)
6月15・16日(土日)第86回日本太鼓支部講習会(北海道室蘭市)
7月6・7日(土日)台湾太鼓講習会(台湾桃園県)
9月28・29日(土日)第87回日本太鼓支部講習会(北海道岩見沢市)
12月予定第88回日本太鼓支部講習会(兵庫県豊岡市)
日程調整中第89回日本太鼓支部講習会(岡山県岡山市)
2020年
1月25・26日(土日)第90回日本太鼓支部講習会(大分県由布市)
2月1・2日(土日)第91回日本太鼓支部講習会(栃木県矢板市)
2月29日・3月1日(土日)第92回日本太鼓支部講習会
(茨城県取手市)

教職員研修会5事業

- 7月7日(日)北海道道北教職員太鼓研修会(北海道旭川市)
7月28日(日)予定栃木県教職員太鼓研修会(栃木県高根沢町)
8月9日(金)北海道道西教職員太鼓研修会(北海道滝川市)
8月18日(日)長崎県教職員太鼓研修会(長崎県波佐見町)
8月18日(日)群馬県教職員太鼓研修会(群馬県伊勢崎市)

一般事業21事業(海外含む)

- 5月26日(日)第8回ポートピア河辺もりっと収穫祭「太鼓祭り」
(秋田県河辺町)
6月23日(日)第1回中日本太鼓フェスティバル(富山県射水市)
7月13・14日(土日)第27回北陸三県雷童サマースクール福井
(福井県大野市)
7月20・21日(土日)全九州和太鼓サマースクール(大分県由布市)

- 7月27日(土)えれこっちゃんみやざき和太鼓フェスティバル
(宮崎県宮崎市)
7月28日(日)第16回ブラジル太鼓ジュニアコンクール&フェスティバル(ブラジル)
8月11日(日)日本太鼓財団広島県支部・
宇品みなと太鼓20周年演奏会(広島県広島市)
9月1日(日)第2回岡山県日本太鼓フェスティバル(岡山県倉敷市)
9月1日(日)第2回日本太鼓ジュニアコンクール佐賀県大会(佐賀県佐賀市)
9月15日(日)愛知県太鼓連盟結成30周年
「太鼓のつどい」in東海(愛知県東海市)
9月29日(日)予定第2回栃木県支部和太鼓技術講習会
(栃木県矢板市)
10月5・6日(土日)オータムセミナー(東京都八王子市)
10月6日(日)第28回東北太鼓フェスティバル(岩手県矢野市町)
10月27日(日)予定岐阜和太鼓の祭典(岐阜県郡上市)
11月2日(土)第7回日本太鼓ジュニアコンクール香川県大会
(香川県高松市)
11月10日(日)第8回東北太鼓ジュニアコンクール(宮城県名取市)
11月24日(日)第3回日本太鼓ジュニアコンクール北海道大会
(北海道室蘭市)
12月1日(日)第12回台湾太鼓フェスティバル・
第10回台湾太鼓ジュニアコンクール(台湾苗栗県)
12月15日(日)第14回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール(佐賀県佐賀市)
12月1日(日)・12月15日(日)
第8回全九州ジュニア和太鼓団体海外派遣交流事業(台湾、佐賀県)
2020年2月23日(日)第12回関八州太鼓まつり(栃木県佐野市)

事務局だより

中日本太鼓連合設立

3月7日に開催された理事会の承認を経て、新たに中部ブロック6県(富山、石川、福井、長野、愛知、岐阜)からなる中日本太鼓連合が設立しました。

設立記念として6月23日(日)、富山県射水市「アイザック小杉文化ホール ラポール」にて中日本太鼓フェスティバルが開催されます。

<お問合せ>河合朋宣(富山県支部事務局長) Tel. 090-4326-7450

第65回日本太鼓全国講習会(岩手)

期日: 2019年6月29・30日(土日)

会場: 八幡平市立松尾コミュニティセンター

〒028-7301岩手県八幡平市野駄第7地割220番地 Tel. 0195-76-3235

主催: 公益財団法人日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 安藤 王子

5級基本講座(初心者講座) 川口 亜香

専門講座

御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美

大江戸助六太鼓講座(単式複打法) 小林 正道

縮太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一

講話 浅野昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)

<申込先>

公益財団法人日本太鼓財団

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-11-2-6F

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

申込締切: 2019年5月31日(金)※当日到着分まで有効

<お問合せ>

日本太鼓財団岩手県支部

事務局長 遠藤 一子

Tel. 090-5591-5203

第85回日本太鼓支部講習会(宮崎)

期日: 2019年6月8・9日(土日)

会場: 株式会社太鼓屋内練習場

〒880-0951宮崎県宮崎市大塚町大迫南平4420 Tel. 0985-52-6181

主催: 日本太鼓財団宮崎県支部

総合指導・5級基本講座(初心者講座)

古屋 邦夫(技術委員会委員長)

申込締切: 2019年5月27日(月)

※当日到着分まで有効

<お問合せ・申込先>

日本太鼓財団宮崎県支部

事務局長 石田 卓也

〒889-1605宮崎県宮崎市清武町加納丙1224-1

Tel. 080-3221-1699 Fax. 0985-83-0026

第86回日本太鼓支部講習会(北海道道南)

期日: 2019年6月15・16日(土日)

会場: ホテルサンルート室蘭

〒050-0074北海道室蘭市中島町2-28-6 Tel. 0143-43-2333

主催: 日本太鼓財団北海道道南支部

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

4級基本講座 今池 薫

5級基本講座(初心者講座) 橋本 光司

申込締切: 2019年5月31日(金)

※当日到着分まで有効

<お問合せ・申込先>

日本太鼓財団北海道道南支部 支部長 櫛引 秀明

〒050-0074北海道室蘭市中島町2-28-6ホテルサンルート室蘭

Tel. 0143-43-2333 Fax. 0143-45-2910

公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

